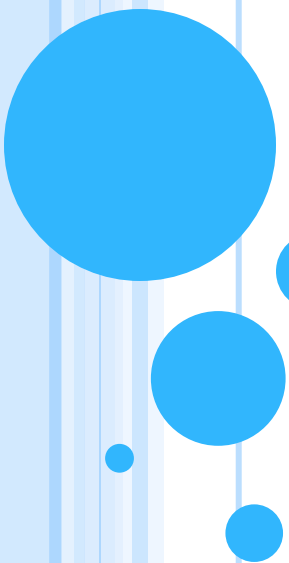


2020年度一般社団法人日本精神科救急学会 会員報告会



〔会員報告会〕

日時:2020年10月9日(金)

場所:学術集会HP内にてご報告(書面)
(後日、学会HPへ掲載を予定)

議事次第

- 第1号議題 第28回学術総会について
- 第2号議題 理事選出について
- 第3号議題 正副理事長選出
- 第4号議題 活動報告
庶務・会計報告
2019年度決算報告
監査報告
- 第5号議題 2021年度予算案報告
- 第6号議題 各委員会報告
- 第7号議題 第29回学術総会について
- 第8号議題 第30回大会長選出の件(新理事長)
- 第9号議題 その他
- 第10号議題 2019年度学会賞・奨励賞



1. 第28回学術総会について

1. 会 期:[LIVE 配信] 2020 年 10 月 9 日(金)～10 日(土)

[オンデマンド配信] 2020 年 10 月 11 日(日)～11 月 11 日(水) ※予定

2. 開催方式 :WEB 開催(配信スタジオ: 高知県立県民文化ホール

〒 780-0870 高知県高知市本町4丁目3 -30)

3. テーマ:超高齢社会を迎えた精神科救急

4. 大 会 長:数井 裕光(高知大学医学部 神経精神科学講座 教授)

5. 副大会長:須藤 康彦(医療法人須藤会 土佐病院 院長)

6. 事務局長:上村 直人(高知大学医学部 神経精神科学講座)



2. 理事選出について

2020-2021年度新理事(計29名)

○北海道地区(2名)

河西 千秋、直江 寿一郎

○東北地区(2名)

大塚 耕太郎、佐久間 啓

○関東地区(10名)

伊豫 雅臣、八田 耕太郎、林 偉明、平田 豊明、深見 悟郎、
松本 俊彦、佐藤 雅美、塚本 哲司、長島 美奈、西村 由紀



2. 理事選出について

2020-2021年度新理事(計29名)

○中部地区（4名）

杉山 直也、鈴木 健一、長谷川 花、藤田 潔

○近畿地区（5名）

飯野 龍、川畑 俊貴、澤 滋、深尾 晃三、岩根 達郎

○中国・四国地区（3名）

兼行 浩史、来住 由樹、須藤 康彦

○九州・沖縄地区（3名）

橋本 聡、平安 明、堀川 公平

以上

3. 正副理事長選出

2020-2021年度正副理事長

理事長：杉山 直也（沼津中央病院）

副理事長：伊豫 雅臣
（千葉大学大学院医学研究院）

副理事長：来住 由樹
（岡山県精神科医療センター）

4. 活動報告

◆ 庶務・会計報告

現在会員数(2020年9月23日現在)

- ・正会員987名

(医師:674名、看護師167名、保健師:4名、PSW/SW:50名、
作業療法士:16名、心理職:14名、薬剤師、18名、
研究職・教職:16名、行政職:1名、その他;27名)

- ・賛助会員4社

- ・団体会員77社

- ・寄贈会員3名

- ・購読会員5名



4. 活動報告

➤ 会費納入状況(2020年9月23日現在)

2020年度	医師		2019年度	医師		2018年度	医師
正会員	677		正会員	641		正会員	608
納入者	510		納入者	574		納入者	579
	75.33%			89.55%			95.23%
2020年度	医師以外		2019年度	医師以外		2018年度	医師以外
正会員	310		正会員	280		正会員	250
納入者	187		納入者	218		納入者	222
	60.32%			77.86%			88.80%



4. 活動報告

➤ 正会員入退会者(2020年9月23日現在)

入会者数

1997年度	205
1998年度	40
1999年度	34
2000年度	42
2001年度	39
2002年度	63
2003年度	68
2004年度	79
2005年度	66
2006年度	101
2007年度	72
2008年度	108
2009年度	81
2010年度	71

退会者数

1998年度	0
1999年度	0
2000年度	1
2001年度	8
2002年度	1
2003年度	0
2004年度	24
2005年度	49
2006年度	28
2007年度	18
2008年度	24
2009年度	50
2010年度	27

入会者数

2011年度	73
2012年度	103
2013年度	82
2014年度	83
2015年度	75
2016年度	86
2017年度	59
2018年度	80
2019年度	67
2020年度	62

退会者数

2011年度	55
2012年度	60
2013年度	63
2014年度	70
2015年度	71
2016年度	56
2017年度	72
2018年度	84
2019年度	76
2020年度	17

4. 活動報告

2019年度決算報告

正味財産増減計算書(2019年4月1日～2020年3月31日迄)

科 目	(単位：円)		
	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	9,805,000	9,735,000	70,000
正会員会費収益	7,395,000	7,415,000	△ 20,000
団体会員会費収益	2,310,000	2,220,000	90,000
賛助会員会費収益	100,000	100,000	0
事業収益	22,698,162	23,165,353	△ 467,191
機関誌等刊行行事収益	896,047	284,928	611,119
ホームページ事業収益	600,000	600,000	0
教育研修講習会事業収益	1,235,000	1,164,000	71,000
運営寄附金収益	900,000	970,000	△ 70,000
学術総会事業収入(大会)	19,067,115	20,146,425	△ 1,079,310
雑収益	335,884	57,808	278,076
経常収益計	32,839,046	32,958,161	△ 119,115
(2) 経常費用			
事業費	25,561,633	26,172,898	△ 611,265
学術総会事業費	42,740	89,480	△ 46,740
機関誌刊行事業費	1,834,173	2,156,879	△ 322,706
教育研修講習会事業費	2,314,870	1,605,980	708,890
その他の事業費	1,748,253	2,179,564	△ 431,311
認定業務支出(認定医準備委員会)	54,482	0	54,482
学術総会事業支出(大会)	19,567,115	20,140,995	△ 573,880
管理費	4,161,828	5,791,957	△ 1,630,129
経常費用計	29,723,461	31,964,855	△ 2,241,394
評価損益等調整前当期経常増減額	3,115,585	993,306	2,122,279
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,115,585	993,306	2,122,279
当期一般正味財産増減額	3,115,585	993,306	2,122,279
一般正味財産期首残高	20,711,276	19,717,970	993,306
一般正味財産期末残高	23,826,861	20,711,276	3,115,585
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	23,826,861	20,711,276	3,115,585

4. 活動報告

2019年度決算報告 貸借対照表(2020年3月31日現在)

(単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	25,571,523	20,355,626	5,215,897
未収金	94,131	10,000	84,131
前払金	500,000	600,000	△ 100,000
仮払金	0	500,000	△ 500,000
流動資産合計	26,165,654	21,465,626	4,700,028
資産合計	26,165,654	21,465,626	4,700,028
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,203,793	174,350	1,029,443
前受会費	135,000	70,000	65,000
仮受金	0	10,000	△ 10,000
ガイドライン製作引当金	1,000,000	500,000	500,000
流動負債合計	2,338,793	754,350	1,584,443
負債合計	2,338,793	754,350	1,584,443
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	23,826,861	20,711,276	3,115,585
正味財産合計	23,826,861	20,711,276	3,115,585
負債及び正味財産合計	26,165,654	21,465,626	4,700,028

4. 活動報告

○ 監査報告

一般社団法人 日本精神科救急学会
理事長 杉山 直也 殿

監事監査報告書

私たち監事は、定款第 20 条に基づき、2019 年度（2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで）日本精神科救急学会の事業報告及び財務諸表とともに、その内容を監査した結果、正当であることを認めます。

以上監査の結果を報告致します。

2020 年 8 月 24 日

監事

中 島 豊 爾

(中島豊爾)



2020 年 8 月 29 日

監事

分 島

徹

(分島 徹)



5. 2021年度予算報告

○ 2021年度予算(2021年4月1日から2022年3月31日迄)

科目	(単位：円)		
	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	9,970,000	10,100,000	△ 130,000
正会員会費収益	7,500,000	7,700,000	△ 200,000
団体会員会費収益	2,370,000	2,300,000	70,000
賛助会員会費収益	100,000	100,000	0
事業収益	29,950,000	22,450,000	7,500,000
機関誌等刊行行事収益	800,000	800,000	0
ホームページ事業収益	900,000	600,000	300,000
教育研修講習会事業収益	1,050,000	1,050,000	0
運営寄附金収益	0	0	0
認定医収入	5,700,000	0	5,700,000
学術総会事業収入(大会)	20,000,000	20,000,000	0
ガイドライン製作引当金収入	1,500,000	0	1,500,000
雑収益	50,000	50,000	0
経常収益計	39,970,000	32,600,000	7,370,000
(2) 経常費用			
事業費	32,000,000	27,150,000	4,850,000
学術総会事業費	200,000	200,000	0
機関誌刊行事業費	2,260,000	2,260,000	0
教育研修講習会事業費	2,250,000	2,250,000	0
その他の事業費	6,000,000	2,050,000	3,950,000
認定業務支出(認定医準備委員会)	1,290,000	390,000	900,000
学術総会事業支出(大会)	20,000,000	20,000,000	0
管理費	7,830,000	5,450,000	2,380,000
経常費用計	39,830,000	32,600,000	7,230,000
評価損益等調整前当期経常増減額	140,000	0	140,000
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	140,000	0	140,000
当期一般正味財産増減額	140,000	0	140,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	140,000	0	140,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	140,000	0	140,000

6. 委員会報告

1. 医療政策委員会(藤田 潔委員長)

委員: 杉山直也、平田豊明、兼行浩史、川畑俊貴、来住由樹、鴻巣泰治、
佐藤雅美、澤温、塚本哲司、直江寿一郎

■ 2019年度活動報告

- ・委員会は①2019年5月18日(東京)、②2019年10月17日(仙台)、③2020年3月4日～13日(メール会議)での計3回開催、以下の議題について審議した。
- ・平成29年度厚生労働科学研究費助成金(障害者政策総合研究事業(精神障害分野))「精神科救急および急性期医療の質向上に関する政策研究」について委員から最終報告があった。
- ・平成31年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「精神科救急医療における質向上と医療提供体制の最適化に資する研究」についての各担当者より研究内容について説明があった。
- ・厚生労働科学研究費補助金「医療計画、障害福祉計画に効率的なモニタリング体制の構築のための研究」に参加している委員より説明があった。
- ・精神科救急ガイドラインの改定に向けて、診療報酬改定の影響や向精神薬の新規参入が多い事を考慮した上で発刊を2020年から2021年に先送りにし、それに伴い新規のタイムテーブルや担当項目、担当者について再検討した。
- ・「措置入院に係る診療ガイドライン」について検討し理事会に報告した。
- ・令和2年度診療報酬改定に向けて救急、急性期病棟での様々な制限について要望の取りまとめをした。
- ・精神科救急入院料病棟における行動制限の実態調査について調査票について検討した。



6. 委員会報告

1. 医療政策委員会(藤田 潔委員長)

委員: 杉山直也、平田豊明、兼行浩史、川畑俊貴、来住由樹、鴻巣泰治、
佐藤雅美、澤温、塚本哲司、直江寿一郎

■ 2020年度活動計画

- ・委員会は第1回2020年5月23日(Web会議)、第2回2020年10月8日(Web会議)を開催した。また、第3回を2021年2月に開催予定。
- ・精神科病院での新型コロナウイルス関連の診療報酬上の取り扱いについて意見交換を行った。
- ・新型コロナウイルス及び精神科救急入院料の病床数制限の精神科救急医療に対する影響について自治体にアンケートを実施し、54自治体より回答を得た。
- ・精神救急入院料の病床数制限についての学会としての対応を検討していく。
- ・令和元年度厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業「精神科救急医療における質向上と医療提供体制の最適化に資する研究」について引き続き研究を進めていく。
- ・『措置入院に係る診療ガイドライン』を本年度中に発刊する。
- ・『精神科救急医療ガイドライン』の改訂作業として、各項の担当者にて2021年5月締切りで原稿作成をおこなう。
- ・精神科救急入院料病棟における行動制限の実態調査を行っていく。

6. 委員会報告

2. 編集委員会(八田 耕太郎委員長)

委員:桂川 修一、白石 弘巳、須藤 康彦、田上美千佳、
塚本 哲司、長谷川朝穂

■ 2019年度活動報告

- ・学会誌23巻の査読・編集作業を行った。23巻は10月6日頃発送の予定である。

■ 2020年度活動計画

- ・学会誌24巻の査読・編集を行う。

また、査読委員および編集委員の増員について検討を予定している。



6. 委員会報告

3. 災害精神医療委員会(深見 悟郎委員長)

委員:鈴木満 鈴木健一 河寫讓 計見一雄 來住由樹
渡路子

■ 2019年度活動報告

- ・災害後復旧支援事業として「心の架け橋いわたて」への寄付は本年度を以て終了することとし、
今後は「災害時における精神科救急医療のあり方」について検討する方向とした。

■ 2020年度活動計画

- ・「災害時における精神科救急医療のあり方」について検討会議を開催予定(コロナ渦のため進行できていない)
- ・第28回学術総会において「新型コロナウイルス感染症関連」をテーマとしたシンポジウムを開催する。



6. 委員会報告

4. 教育研修委員会(堀川 公平委員長)

副委員長:川畑俊貴

委員:計見一雄、佐藤雅美、澤温、杉山直也、田代誠、
長島美奈、灘紀英、長谷川朝穂、深見悟郎

■ 2019年度活動報告

- ・2019年度教育研修会in愛知 2019年6月8日(土)桶狭間病院藤田こころケアセンター

「精神科救急・急性期医療において他職種が精神科医に求めるもの—診断と薬物療法だけでいいのか?!—」

75名が参加

- ・電気けいれん療法(ECT)大阪講習会 2019年8月25日(日)千里ライフサイエンスセンター 135名が参加

- ・第27回日本精神科救急学会学術総会 教育研修コース 2019年10月19日(土)仙台国際センター

「精神科救急・急性期医療における行動制限最小化について」

- ・第27回日本精神科救急学会学術総会 学会賞選考委員会開催 →学会賞該当なし 奨励賞3名決定へ

- ・2019年度自殺未遂者ケア研修会 2020年1月19日(日)大手町スクエアカンファレンス 59名が参加

- ・2020年度研究助成 3名を採択



6. 委員会報告

4. 教育研修委員会(堀川 公平委員長)

副委員長:川畑俊貴

委員:計見一雄、佐藤雅美、澤温、杉山直也、田代誠、
長島美奈、灘紀英、長谷川朝穂、深見悟郎

■ 2020年度活動計画

- ・2020年度教育研修会in岡山 →COVID-19の感染拡大を考慮し開催中止へ
- ・2021年度研究助成 募集中
- ・第28回日本精神科救急学会学術総会 教育研修コース「精神科臨床における操作的診断の功罪」
2020年10月10日(土)開催予定
- ・第28回日本精神科救急学会学術総会 学会賞選考委員会開催予定
- ・電気けいれん療法(ECT)WEB講習会 2020年11月15日(日)開催予定 募集中
- ・自殺未遂者ケア研修(WEB開催) 2021年1月17日(日)開催予定



6. 委員会報告

5. 認定医準備委員会(伊豫 雅臣委員長)

委員:桂川 修一、川畑 俊貴、澤 温、杉山 直也、
関口 隆一、中村 満、成瀬 暢也、八田 耕太郎、
平田 豊明、深見 悟郎

■ 2019年度活動報告

- ・認定医制度の規則・細則案を作成、代議員へメールにて意見募集の上、承認された。
- ・認定医制度の開始に向け、準備を進めた。

■ 2020年度活動計画

- ・2021年度の開始を目指し、準備を進める。



認定医等認定に関わる工程

1. (学会・事務局)認定医に関するアナウンスのページの作成
2. (学会・事務局)会員サイトへの新規及び更新(認定医・指導医・認定施設申請書等のアップロード
3. (学会・事務局)申請費用振込用口座の開設
4. (申請者)申請書のダウンロード
5. (申請者)郵送による申請
6. (事務局)申請内容の確認
 - ①事務局による申請書類に不備がないかどうかの確認
 - ②事務局による申請資格(学会在籍年数、学会費納入)
 - ③申請費用振込の確認
7. (事務局)申請書を認定医・指導医認定部会及び施設認定部会の各委員への送付
8. (各部会)各部会討議し、審査結果を事務局に返送する。
 - ①.ただし意見が割れた場合には、部会毎にメール(またはZoom)で討議する。
 - ②.なお、さらに討議を要する場合には、対面での会議にて討議する。
9. (各部会)認定についての理事会報告
10. (事務局)認定に係る業務
 - ①認定証の作成
 - ②申請者の認定登録
 - ③申請者への認定証発行

6. 委員会報告

6. 広報委員会(林 偉明委員長)

委員:岩根 達郎、佐藤 雅美、橋本 聡、松本 俊彦

■ 2019年度活動報告

- ウェブサイトwww.jaep.jpのコンテンツの管理および、Facebookを通じての発信を継続して行っている。
- 2019年には31回の更新を行ったが、これには教育研修会の案内や学会参加記、COVID-19に関する情報そして精神救急入院料算定病棟マップなどが含まれている。

■ 2020年度活動計画

- 引き続きウェブサイトの充実を図る中で、編集委員会の協力を得て「アーカイブ集」(仮称)を掲載することを計画している。



7. 第29回学術総会について

The 29th Annual Meeting of Japanese Association for Emergency Psychiatry
第29回 日本精神科救急学会学術総会

2021 年

9/24 (金)
9/25 (土)

テーマ

地域包括ケアにおける
精神科救急医療のあり方を考える
－医療の質と継続性の視点から－

会場

ビッグパレットふくしま
(福島県郡山市南2丁目52)

大会長 佐久間 啓

社会医療法人 あさかホスピタル 理事長・院長

大会副会長 星野 修三

一般社団法人 福島県精神科病院協会 会長

一般財団法人 竹田健康財団 竹田綜合病院 副院長



大会ホームページはこちら

《磐梯山》青木 尊

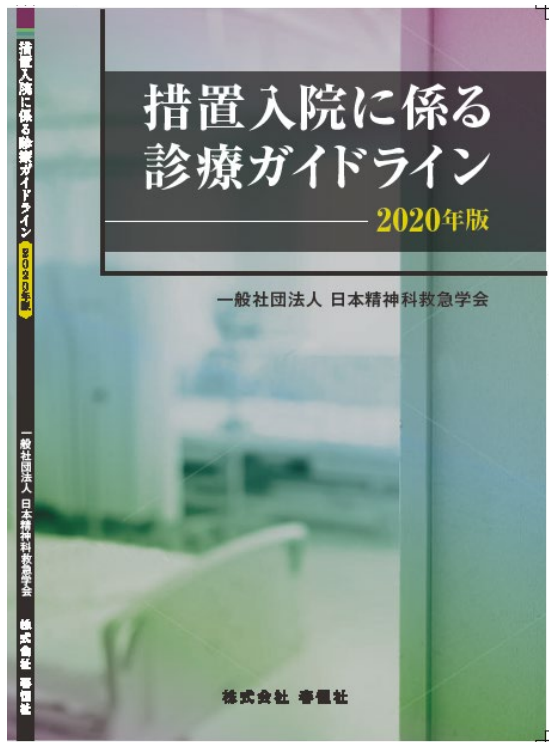


8. 第30回大会長選出の件(杉山理事長)

第30回日本精神科救急学会学術総会
大会長 松尾 幸治 教授

(埼玉医科大学医学部精神医学)

9. その他



- 2020年秋～冬頃 発刊予定
『措置入院に係る診療ガイドライン
— 2020年版』

- 2020年度会員報告会
日時：2020年10月9日(金)予定
場所：学術集会HPにて書面によるご報告



10.2019年度学会賞・奨励賞

- 第27回日本精神科救急学会学術総会(仙台)

奨励賞が3名決定(学会賞該当無し)



10.2019年度学会賞・奨励賞

奨励賞 鎌田 雄 殿

(千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター)

16-2 千葉大学医学部附属病院における精神科緊急対応研修会の実践報告 (第2報)～多職種連携教育(IPE)に基づく実践的な研修を目指して～

この度、奨励賞を受賞させていただきましたこと、大変栄誉あることと感動しております。この受賞は私個人で得たものではなく、共同演者の先生方や、本発表にある研修会にご参加いただいた全ての方のお陰と痛感しております。

救急場面では瞬発的な判断や動作が求められるため、現場に即した具体的な教育の必要性を日頃から強く感じております。今回の受賞を経て、本学会の精神科救急ガイドラインの内容を診療場面で標準化された形で実践できるよう、さらにブラッシュアップしていきたいと決意を新たにいたしました。

また、私は臨床に携わりながら、学生や初期研修医、後期研修医の教育を担当しております。一医学教育者として、医学教育に関する発表を賞に選んでいただいたことに深い感動を覚えております。臨床において重要な救急場面においてこそ、標準的な診療を行うための教育が必要なのだという考えを勝手ながら支持していただいたようにも感じました。

最後になりますが、運営を含め研修会に参加していただいた先生方、本発表を聴講していただいた皆様、本学会の運営に携わった全ての方々にお礼を申し上げたいと思います。誠にありがとうございました。



10.2019年度学会賞・奨励賞

奨励賞 松原 拓郎殿（松原病院）

17-4 精神科トリアージスケール(Mental health triage scales:MHTS) を用いた精神科救急状態の評価

このたびは、発表いたしました「精神科トリアージスケール（Mental health triage scales：MHTS）を用いた精神科救急状態の評価」に過分な評価をしていただき、ありがとうございました。

我々は精神科救急を行っていく中で、救急隊や警察、総合病院の救急部などの、精神科を専門とされていない医療スタッフの方々と密に連携し、精神科救急状態に苦しむ患者さんが搬送困難事例とならないよう日々努力しております。連携を深めるなかで我々は、精神科非専門のスタッフが精神科救急状態という間主観性の高い状態の評価に苦勞しており、搬送先の医療機関の選定に悩んでいることや、緊急性を見誤り現場で暴力被害にあっていることがわかり、非専門の方でも簡単に使用できるような「共通言語」としてのトリアージスケールが作成できれば、円滑な精神科医療の提供に役に立つのではないかと考え、本研究を始めました。研究では、豪州のMHTSと呼ばれるトリアージスケールを見つけ、豪州保健省と連絡を取り合い日本語版のMHTSであるJPN Mental Health Triage Scale（JPN-MHTS）を作成し調査しました。今後、JPN-MHTSが広く利用されることを願っております。

最後になりますが、この場をお借りして、本調査にご協力くださった皆様に御礼申し上げます。



10.2019年度学会賞・奨励賞

奨励賞 小松 浩 殿(宮城県立精神医療センター)

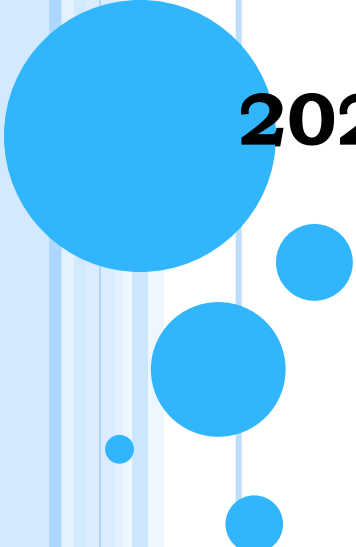
17-3 スーパー救急病棟入院中の統合失調症患者のセルフスティグマ、抑うつ症状、自閉スペクトラム症特性、リカバリーとの関連について ～外来患者との比較～

この度は学会奨励賞をいただき誠にありがとうございます。

私はここ数年、主にスーパー救急病棟での治療に携わってきました。統合失調症の急性期治療において精神症状の改善のみならず、主観的なリカバリーを意識した関わりが必要であると常日頃から考えていました。スーパー救急病棟での限られた入院期間の中で少しでも主観的なリカバリーを高めるための効果的な介入方法を考える上で、どのような患者特性や精神症状が主観的なリカバリーに影響しているかをまずは調査する必要があると考えました。そこで今回の研究では、先行研究や当センターでの予備的な調査結果に基づき、スーパー救急病棟入院中および外来通院中の統合失調症患者さんの自閉スペクトラム症特性、抑うつ症状、self-stigma、主観的なリカバリーの4因子の関連について調査し、主観的なリカバリーを含む4因子の関連を明らかにしました。本研究の結果に興味がある方は、精神医学2020年4月号に掲載されていますのでご一読いただければ幸いです。

今後は本研究の調査結果に基づき、主観的なリカバリーを高めるためのスーパー救急病棟でも実施可能な効果的な介入方法を考えていきたいと思っています。最後に、研究に協力頂いた宮城県立精神医療センターのスタッフの皆様、患者さんにこの場を借りて感謝申し上げます。





2020年度一般社団法人日本精神科救急学会 会員報告会

以上